

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (米国FOMC)

2020/12/17

りそなホールディングス 市場企画部



### 〇 概況

- ◆ 政策金利を据え置きとし、誘導水準は0.00～0.25%。声明文で資産買入の指針を強化（全会一致）
- ◆ 景気及び政策金利見通しでは、実質GDPは全般的に上方修正、失業率は改善。政策委員の大勢は2023年まで政策金利の維持を予想
- ◆ パウエル議長は記者会見で、足元の経済にとって必要であるのは財政政策であることを指摘

✓ FRBは12/15-16に行われたFOMC（連邦公開市場委員会）で、政策金利である**FF金利の誘導目標を0.00～0.25%（金利据え置き）**とした。**全会一致**。

✓ 声明文について、バランスシート政策における**資産買入スタンスを強化**。前回会合では「少なくとも現状の月額1,200億ドルの買入ペースを当面は維持」としていたが、今回会合で「**最大雇用と物価安定の目標達成に向けて著しい進展が見られるまで**月額1,200億ドルの買入ペースを維持」とした。一方で、一部で予想されていた**国債買入年限の長期化は見送られた**。

✓ 景気見通しや政策金利見通しについては、**実質GDPは2020年～22年を上昇修正、失業率については20年～23年まで低下方向で修正した**。物価上昇率は22年のみ小幅に上方修正となった。**FOMCメンバーによる政策金利の見通しは、9月会合からほぼ変わらなかったが、23年の利上げ予想が1名増加**。

✓ メンバーによる経済見通しの『不確実性評価』は、依然高い。一方、先行きのリスクが悪化方向との見方は減少した。

✓ パウエル議長は記者会見で、資産買入指針における「**著しい進展**」について**具体的な数値目標はない**とし、**最大雇用と物価の安定を目指す**とした。また、足元の経済で悪化が見える一方**今回会合で追加緩和を実施しない理由として、既に大規模な資産買入を実施しており、現在必要であるのは財政政策であることを指摘した**。

✓ 今回のFOMCでは概ね市場予想通りであり、株価や金利への影響は限定的であった。

### FRBの景気見通し～GDP・失業率見通しが改善

	FRB見通し（中央値）				
	2020	2021	2022	2023	長期
実質GDP	-2.4↑	4.2↑	3.2↑	2.4↓	1.8↓
2020年9月時点	-3.7	4.0	3.0	2.5	1.9
失業率	6.7↓	5.0↓	4.2↓	3.7↓	4.1
2020年9月時点	7.6	5.5	4.6	4.0	4.1
PCEインフレ率	1.2	1.7	1.9↑	2.0	2.0
2020年9月時点	1.2	1.7	1.8	2.0	2.0

### FOMCメンバーの政策金利見通し～2023年までゼロ金利政策継続

今後の利上げ回数	2021		2022		2023		Longer run	
	9月	12月	9月	12月	9月	12月	9月	12月
3.125								
3.000							2	2
2.875								
2.750							1	1
2.625								
2.500							8	8
2.375							1	1
2.250							3	3
2.125								
2.000								
1.875								
1.750								
1.625								
1.500								
1.375					1			
1.250								
1.125								
1.000								
0.875								
0.750								
0.625			1	1	1	1		
0.500								
0.375					2	3		
0.250								
0.125	現在	17	17	16	16	13	12	
0.000								
平均値		0.125	0.125	0.154	0.154	0.257	0.257	2.492
中央値		0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	2.500

※数字は予想したFOMCメンバーの人数

【出所】FRB

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。